

目的

台風発生前後に海岸防護施設の健全度調査をドローンを用いて効果的に実施できるか検証

実施内容

台風発生前後に調査対象エリアで航空写真測量と航空レーザ測量を実施
その後テトラポット等の状況の変化を三次元モデルにて確認



国土地理院地図を加工して作成

調査範囲図



使用機材(UAV) : MATRICE 600 Pro

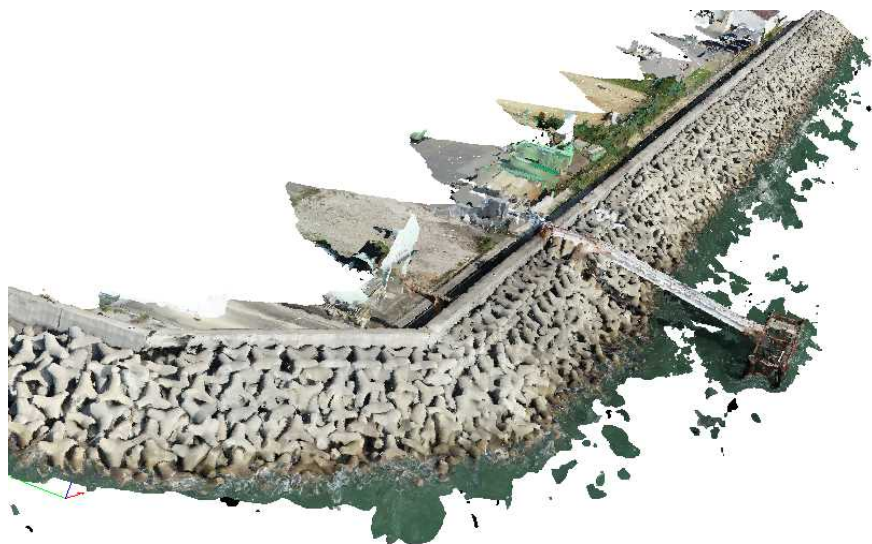


使用機材(レーザースキャナ) :
Yellow Scan VX-15

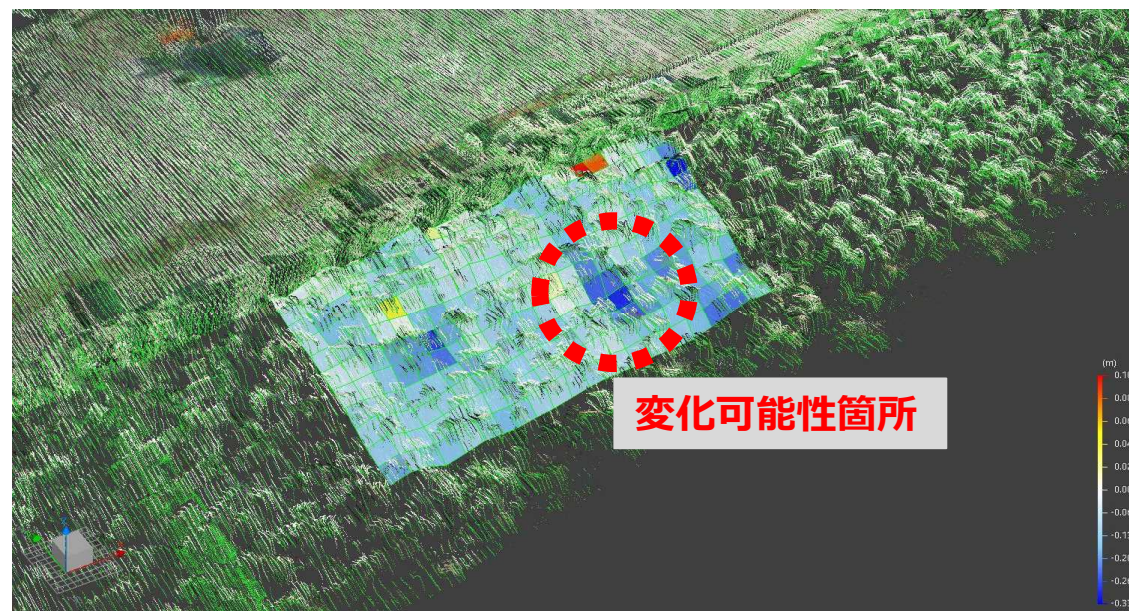


作業の様子

- ## 成果
- 航空レーザ測量は実務に耐える精度が確保でき、作業時間も写真測量よりも大幅に短時間で実施することが可能
 - 環境整備次第では従来の方法よりも低コスト・短時間で作業を実施することが可能
 - 三次元モデルの比較では、経年変化したと思われる箇所の特特定可能



セクション4 三次元データ



比較モデル② (セクション3)